



SSH通信

広島大学附属高等学校

II年5組AS委員

2020年度 第4号

2020年10月21日発行

今年度の韓国研修について

本校では、SSH事業の一環として2010年から毎年、旧SSクラス及びASクラス約40名が韓国の天安中央高等学校を訪問していました。しかし今年は、COVID-19感染拡大防止のため、この10年間で初めて訪問を断念せざるを得なくなりました。お互いにとってとても残念なことです。しかし、なんとか交流を続けたいという気持ちで調整が進められてきました。その結果、今年は天安中央高等学校の課題研究チームのうち3チームが本校の課題研究と同じテーマで研究し、オンラインで月1回の交流を行うことになりました。まずは8月に教員同士でオンライン状況の確認や今後の予定などについての話し合いが行われました。そして9月9日、生徒同士の第1回課題研究交流会を実施しました。あらかじめ説明用の資料をホワイトボードに作り、オンラインの状況で相手に伝わりやすい工夫を凝らしました。直接会って話すことができない難しさはありましたが、3チームとも大変有意義な時間を持つことができました。いつか直接会って話をする日が来ることを祈りつつ、その日が来るまでこのような形で交流を進めてゆく予定です。

図形チーム（数学）

今回は回線のトラブルでこちらの声が相手に聞こえないという事態になりましたが、オンラインのチャット機能で伝えたいことを入力したり、ホワイトボードやジェスチャーを駆使したりして、なんとか自分たちの研究を伝えることができました。お互い大変楽しくコミュニケーションができました。次回はさらにお互いの研究について語りしたいと思います。



音声トラブルがありましたホワイトボードで迅速に対応！



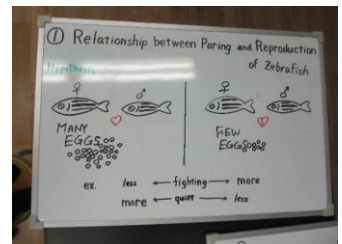
オンラインの様子

活性炭チーム（化学）

韓国研修も、今年はコロナウイルス感染拡大防止のため中止になってしまいましたが、この度はこうしてオンラインでの会議をさせていただける事になりました。私たち活性炭チームは素晴らしい韓国の共同メンバーと、互いの課題研究の内容について、つたないながら、フリップボードも使い英語でのコミュニケーションを通じて理解を深めることができました。

ゼブラフィッシュチーム（生物）

私たちゼブラフィッシュチームは、お互いに研究の内容や成果を発表しあいました。海外の学校との初めての交流だったためいろいろとトラブルもあり、母語が違う人同士でのコミュニケーションの難しさを痛感しましたが、天安中央高等学校の研究内容を聞いて、場所は違っても同じ分野で研究をしているということを実感し、これからの研究への大きなモチベーションとなりました。今後交流を深め、さらに研究活動に精通していこうと思います。



あらかじめ、研究内容をホワイトボードにまとめて伝わりやすくしました。